

《基礎教育科目 基礎教育科目 必修》

科目名	人権論				
担当者氏名	高村 公一				
授業方法	講義	単位 卒業の必修・選択	2・必修	開講年次・開講期	1年・前期
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等	(幼) - 大学が独自に設定する科目 (保) - 教養科目				

《授業の概要》

「人権」とは、人間が生まれながらにして当然もっている権利です。これはすべての人が個人として尊重され、自分らしく生きることができるという考え方に基づくものです。しかし、性、家族、学校、地域社会、人種・民族、国家間など人間関係が存在するところには様々な問題があり、人権が保障されていない、人権を侵害されている人々がいるという現実があります。

この授業では、人権問題を当事者の視点から考察し、自らの生活や生き方につなげ、他者との関わりを考え、実践する力をつけることをねらいとします。また、アクティブラーニングとして、適宜、意見発表やディスカッションなどを行います。

《授業の到達目標》

1. 人権とは何か、について考えを深める。
2. 身近な人権問題の存在について認識を深める。
3. 日本における人権問題について考える。
4. 世界の人権状況について理解を深める。
5. 子どもの人権について考え、理解を深める。
6. 人権教育のあり方について主体的に考え、課題意識をもって取り組む姿勢を養う。

《成績評価の方法》

・平常点30% ・課題(レポ・ト等)40% ・ワークシート等30%

《参考図書》

随時、資料等を配布する予定です。

《教科書》

『改訂版 人権からみた人間関係』亀山 學・魚森 茂 共著 (昌美堂出版)

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：H02
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：必修
保育士：必修
備考：アクティブラーニング実施

《担当教員の業務経験と授業の関連》

教育現場や教育行政での経験をもとに、人権教育・保育のあり方等について具体的な事例を交え授業を行います。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	ガイダンス	自己をみつめ、言葉の大切さについて考える / 学修の目標、計画を立てる。【30分】
2	人権とは(1)	人権思想の発展 / 人権の歴史 (アメリカ独立宣言・フランス人権宣言) のまとめ【30分】
3	人権とは(2)	「日本国憲法」 / 新旧憲法の特徴、比較のまとめ【30分】
4	現代日本の人権問題(1)	基本的人権の尊重 / 法務省HPで人権課題を調べる (予習)【30分】
5	現代日本の人権問題(2)	人権侵害事象とその対策 / インターネットによる人権侵害のまとめ【30分】
6	世界の人権状況(1)	「世界人権宣言」 / 「世界人権宣言」を読む (予習)【30分】
7	世界の人権状況(2)	南アフリカ共和国・オーストラリアなど / アパルトヘイト、白豪主義のまとめ (復習)【30分】
8	世界の人権状況(3)	アメリカ合衆国・インドなど / 奴隷解放宣言、カースト制度のまとめ (復習)【30分】
9	近年の人権状況	多様な考え方や価値観について / 多様な価値観に気づくワーク等で考える (復習)【30分】
10	差別と人権(1)	差別の実態と今後の課題について / ヘイトスピーチについて調べる (予習)【30分】
11	差別と人権(2)	身近な差別や偏見 / 身近な差別問題について調べる (予習)【30分】
12	部落差別の現状と今後の課題(1)	「水平社宣言」 / 「同和対策審議会答申」 / 水平社宣言を読む (予習)【30分】
13	部落差別の現状と今後の課題(2)	戦後の部落解放運動と今日の状況 / 今後の課題について考える (復習)【30分】
14	子どもの権利条約	【課題研究】「子どもの権利条約」について / 「子どもの権利条約」の視点を生かした取り組みを考える【90分】
15	人権教育及び人権啓発の推進	【課題研究】人権教育及び人権啓発の推進について / 人権・同和教育 (保育) をどのように進めていきたいかを考える【90分】

《基礎教育科目 基礎教育科目 必修》

科目名	人権論				
担当者氏名	沖本 和子				
授業方法	講義	単位 卒業の必修・選択	2・必修	開講年次・開講期	1年・前期
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等	(幼) - 大学が独自に設定する科目 (保) - 教養科目				

《授業の概要》

「人権」とは、人間が生まれながらにして当然もっている権利であることを確認し、すべての人が個人として尊重され、自分らしく生きることができる社会をめざして生きるという考え方を一人の社会人としてもてるように、人権尊重の重要性・必要性について説明します。さらに、性、家族、学校、地域社会、人種・民族、国家間など、人間関係が存在するところには様々な問題があり、人権が保障されていない、人権を侵害されている人々がいるという現実を知り、自らの考え方や生き方につなげ、偏見差別を見抜くチカラや行動力を培う活動を提供します。この授業をとおして、すべての人の「人権」を大切にしたい保育・教育実践をめざす意識を育てます。

《授業の到達目標》

1. 人権とは何か、について考えを深める。
2. 多様性を尊重する意識をもつ。
3. 世界の人権状況、日本の人権課題について理解を深める。
4. 子どもの人権について考え、理解を深める。
5. 身近な人権課題について認識を深める。
6. 人権教育のあり方について主体的に考え、課題意識をもって取り組む姿勢を養う。

《成績評価の方法》

毎回、授業後にポートフォリオで提出する小レポート
(気づき・学びなどを400字程度にまとめる) 70%
課題(「ポスター」等)の提出 30%

《参考図書》

- 「多様性の学級づくり」(解放出版社)
「はじめまして、子どもの権利条約」(かもめの本棚)
「人権ってなんだろう?」(解放出版社)

《教科書》

- 「行動力をはぐくむ教室」沖本和子著(解放出版社)

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号: H02
担当形態: クラス分け
幼稚園教諭: 必修
保育士: 必修
備考: アクティブラーニングを実施

《担当教員の業務経験と授業の関連》

教育現場等で人権教育にかかわってきた経験をもとに、具体的な事例を交え「人権」について実践的な講義・演習を行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	「人権」とは 「安心」を考える	自己を見つめ、「人権」を自分はどうとらえているのかを自覚し、「人権」の意味を考える/この授業の内容を知り、自分の「人権意識」を見つめる【予習30分】
2	多様性の尊重 1	「安心の場づくり」を考える/教科書P.7~P.17を読む【予習30分】
3	多様性の尊重 2	「もちあじ」の尊重について考え、自分の「もちあじ」を見つめる/教科書P.18~P.26を読む【予習30分】
4	多様性の尊重 3	「ちがいは豊かさ」の意味を理解する/教科書P.34ワークシート を再考する【復習30分】
5	多様性の尊重 4	「ふつう」「あたりまえ」について考える/教科書P.55~P.60を読む【予習30分】
6	自分を生きる 1	一人ひとりの違いを豊かさにするためのワークを体験する /教科書P.61~P.64を読み、自分の意見をもつ【予習30分】
7	子どもの権利条約 1	「子どもの権利条約」を知り、その内容と重要性を理解し、気づきや学びをまとめる
8	子どもの権利条約 2	A4用紙に「子どもの権利条約ポスター」を作成し、作品を写真に収める
9	自分を生きる 2	一人ひとりの違いを豊かさにするためのワークを体験する /教科書P.84~P.88を読みワークもしておく【予習30分】
10	自分を生きる 3	一人ひとりの違いを豊かさにするためのワークを体験する /教科書P.61~P.88の内容をふりかえっておく【復習30分】
11	人権課題の解決に向けて 1	いじめや偏見に立ち向かう行動力を育むために/教科書P.89~P.92を読み、自分の意見をもつ【予習30分】
12	人権課題の解決に向けて 2	対立と非暴力を考える/教科書P.98~P.101を読みワークもやっておく【予習30分】
13	人権課題の解決に向けて 3	人権課題を知り、解決に向けて自分ができることを考える/教科書での学びをふりかえっておく【復習30分】
14	世界人権宣言 1	【課題研究】「世界人権宣言」に関する情報を集め、その内容と重要性を理解し、自分なりにまとめる【90分】
15	世界人権宣言 2	【課題研究】A4用紙に「世界人権宣言ポスター」を作成し、写真に収める【90分】

《基礎教育科目 基礎教育科目 必修》

科目名	人権論				
担当者氏名	金 光敏				
授業方法	講義	単位 卒業の必修・選択	2・必修	開講年次・開講期	1年・後期
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等					

《授業の概要》

人権問題について学ぶことは、特定課題のみを探索、研究、理解するわけではありません。実は、社会生活を送るうえで自らのリテラシーを培い、知性をもって判断する力を育むために、欠かせない知識と経験を積むことです。子どもの保育、教育に従事する人ならばなおのこと、人権意識の向上とともに、さまざまな社会における出来事を多面的に理解する力を培うことが求められます。この授業では、受講生のみならずの社会的な関心を喚起しながら、より多くの知識や情報に触れてもらうことを目標とします。

《授業の到達目標》

この授業では、知的好奇心を高め、さらに理解を深めて、これから実際に現場で直面するであろう様々な事象（出来事）を人権的視点から読み解き、解決に結びつけることのできる知識や思考法を身に付けることを目標とします。

《成績評価の方法》

平常点（出席点、授業への参加度）60点
テスト40点で氷塊します。平常点の評価については、授業事に提出してもらう出席カード（ミニレポート）で評価します。テストは学期末に実施します。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	ガイダンス	この授業の概要、目標、授業スタイル、評価方法などについて説明します。/資料を配ります【予習復習時間は不要です】
2	世界人権宣言を読もう！ 1	過去2回の世界大戦の反省をもとに国連で採択された世界人権宣言について学びます。/世界人権宣言前文【予習復習時間30分】
3	世界人権宣言を読もう！ 2	世界人権宣言を根拠として策定され国連で発効した国際人権諸条約について学びます。/世界人権宣言前文【予習復習時間30分】
4	私たちにとって家族とは？ 1	選択的夫婦別姓をめぐる賛否から、家族とは？女性の権利とは？について考えます。/最近のニュース記事等【予習復習時間30分】
5	私たちにとって家族とは？ 2	就労人口における女性の非正規率が男性よりも2倍以上である実態から、この社会にはびこる女性差別の実態に迫ります。/最近のニュース記事等【予習復習時間30分】
6	在日コリアンと多文化共生 1	在日コリアンとはどういった存在なのか、その歴史的経過や現在の状況について学びます。/最近のニュース記事【予習復習時間30分】
7	在日コリアンと多文化共生 2	在日コリアンの現在の状況から多文化共生をどうめざすべきかについて考えます。/最近のニュース記事【予習復習時間30分】
8	中国残留孤児とはどんな人々か？ 1	第二次世界大戦における日本の中国侵略の経過から中国残留孤児をはじめ中国帰国者のもとである満蒙開拓団がどのようにして生み出されたのかを学びます。/授業で配布する資料【予習復習時間30分】
9	中国残留孤児とはどんな人々か？ 2	中国残留孤児をはじめ中国帰国者の歩みから戦争の傷を背負って生きる人々について考えます。授業で配布する資料【予習復習時間30分】
10	「大阪ミナミの子どもたち」 1	大阪市中央区島之内で取り組む「Minamiこども教室」の実践をまとめた「大阪ミナミの子どもたち」第1章、第2章を活用して授業を実施します。/教科書を事前通読【予習復習時間30分】
11	「大阪ミナミの子どもたち」 2	大阪市中央区島之内で取り組む「Minamiこども教室」の実践をまとめた「大阪ミナミの子どもたち」第3章、第4章を活用して授業を実施します。/教科書を事前通読【予習復習時間30分】
12	「大阪ミナミの子どもたち」 3	大阪市中央区島之内で取り組む「Minamiこども教室」の実践をまとめた「大阪ミナミの子どもたち」第5章、第6章を活用して授業を実施します。/教科書を事前通読【予習復習時間30分】
13	「大阪ミナミの子どもたち」 4	大阪市中央区島之内で取り組む「Minamiこども教室」の実践をまとめた「大阪ミナミの子どもたち」第7章、第8章を活用して授業を実施します。/教科書を事前通読【予習復習時間30分】
14	保育、教育と人権	保育と教育の現場に携わるために必要な人権意識や知識、スキルについて考えます。/授業で配布する資料【予習復習時間30分】
15	授業のまとめ	この授業のとりまとめ

《参考図書》

授業ごとに関連する資料を配布します

《教科書》

大阪ミナミの子どもたち～歓楽街で暮らす親と子どもを支える夜間教室の日々～（2019年彩流社）

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

H02 / クラス分け / 必修

《担当教員の業務経験と授業の関連》

私はNPO法人スタッフとして実際の現場に従事し、さまざまな人権課題に携わってきました。そうした経験をぜひ受講生の皆さんの学びにつなげることができればと思います。